

# 資料館だより

第 19 号  
平成27年3月



## 目 次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 目次・巻頭写真・・・・・・・・・・               | 1  |
| 五鉄跡を歩く・・・・・・・・・・                | 2  |
| 平成 26 年度<br>資料館・古民家園の催し・・・・・・・・ | 8  |
| 新刊紹介・・・・・・・・・・                  | 12 |

### 《巻頭写真》

#### 「中央線を跨ぐ青梅短絡線」

中央線から青梅線に直通する下り電車は、中央線の南側をしばらく並走した後、中央線を乗り越して、西立川駅の手前で青梅線に合流しています。この路線は五日市鉄道と南武鉄道によってつくられたもので、現在では青梅短絡線と呼ばれています。この橋桁は昭和 5 年に立川～拝島間が開通した時に架けられたもので、現在も使われています。(関連 2～7 ページ)

---

# 五鉄跡を歩く

歴史民俗資料館では、平成 26 年 10 月～12 月に「青鉄と五鉄」展を開催しました。関連して現地解説「五鉄跡を歩く」を 12 月 13 日(土)に実施いたしました。この講座は受付開始 1 時間で満員御礼になってしまいました。本稿では参加できなかった方のために資料館だより誌上に「五鉄跡を歩く」を掲載します。

「五鉄」とは五日市鉄道の愛称・略称です。五日市鉄道は現 JR 五日市線を開業させた会社で、拝島～武蔵五日市間の他に、立川～拝島間にも今の青梅線の南側に並行する青梅線とは別の路線を所有していました。

大正 14 年(1925)に拝島～五日市間が開通し、昭和 5 年(1930)7 月に立川～拝島間が開通しました。立川まで独自に路線を延長したのは、同じ浅野セメント系列の南武鉄道(現 JR 南武線)と直接立川で連絡するためでした。立川～拝島間は、非電化の単線で、武蔵上ノ原、郷地、武蔵福島、南中神、宮沢、大神、武蔵田中、南拝島の 8 つの駅がありました。武蔵上ノ原駅は立川市域に位置していましたが、他の駅は現在の昭島市内にありました。立川～拝島間は 8.1km あり、各駅の距離は、立川 -0.9km- 武蔵上ノ原 -1.2km- 郷地

-0.7km- 武蔵福島 -0.7km- 南中神 -1.0km- 宮沢 -0.6km- 大神 -0.4km- 武蔵田中 -1.1km- 南拝島 -1.5km- 拝島でした。

昭和 15 年には南武鉄道と合併して、南武鉄道五日市線となりました。昭和 19 年 4 月には国有化され、半年後の 10 月には五日市線立川～拝島間は、不要・不急路線として廃止されてしまいました。

現在では廃線跡の多くは道路に転用されており、その跡を歩くことができます。とりわけ昭島市内では、五鉄通りとして整備されています。ただし、駅の痕跡は武蔵上ノ原を除くと、全く言っていないほど残ってはいません。

武蔵上ノ原からは五日市鉄道とは別に西立川駅へ向う南武鉄道の路線が伸びていました。この路線と立川～武蔵上ノ原間は廃止されずに、現在も中央線から青梅線に直通する電車や貨物列車に使われています。立川～武蔵上ノ原間は南武鉄道と線路を共有していました。

立川駅南口駅舎は昭和 5 年に南武鉄道によってつくられました。明治 22 年の甲武鉄道の開業以来、立川駅には北口しかなかったのです。五日市鉄道は南武鉄道とホームを共有し、



**a. 右から中央線上り線・下り線、青梅短絡線** 電車が走っているのが青梅短絡線です。青梅短絡線は青梅線を乗り越すために、立川駅を出ると勾配を登り始める。

**b. 武蔵上ノ原駅跡**  
土が盛り上がっているところがホームの痕跡でしょうか。



**c. 旧分岐点付近**  
杭は旧国鉄の境界杭で、杭と杭の間が五鉄跡だとわかる。

**d. 旧郷地駅付近**  
産業サポートセンター交差点の手前に郷地駅がありました。

北側を五日市鉄道、南側を南武鉄道が使用しました。

巻頭写真の解説に書いたように五日市線は中央線を乗り越えるとすぐに武蔵上ノ原駅跡です。現在の上野原踏切の東側に当たります。武蔵上ノ原駅は五日市鉄道(郷地方面)と南武鉄道(西立川方面)は分岐していました。青梅線の西立川駅に向かう路線はここから北へ向かっていますが、五日市鉄道は南西方向に向かい、現在の立川南通りを郷地駅付近まで走っていました。立川南通りは昭和40年に現在の産業サポートセンター交差点まで開通しています。郷地駅はこの交差点の手前にありました。

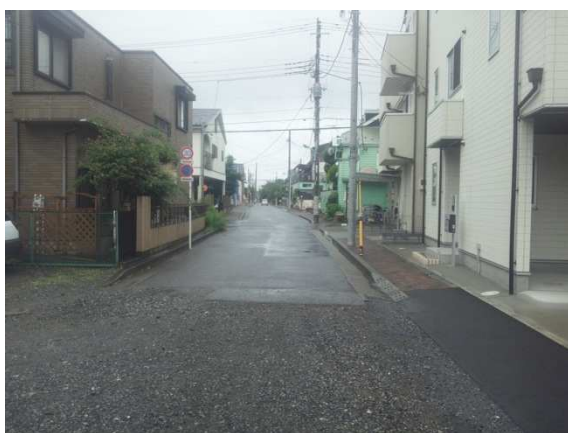
郷地駅を過ぎると、道路も細くカーブも緩やかなり、いかにも廃線跡という光景になります。しばらく行くと北側に昭島市昭和公園が見えてきます。昭和公園の南側まで廃線跡は道路として使われていますが、そこから先、八清通りの東側までは、住宅地他になっており歩くことができません。八清通りの東側からは、廃線跡が五鉄通りとして整備されており、一部を除き拝島駅付近まで歩くことができます。

武蔵福島駅は福島通りの東側、南中神駅は中神停車場通りの東側にありました。南中神駅は計画段階では武蔵中神駅でしたが、青梅線にも中神駅があるからでしょうか、南中神

駅となったようです。松中諏訪通りと交差すると旧宮沢駅跡です。旧宮沢駅跡を過ぎ、しばらく進むと八高線と交差します。八高線と交差するところは、現在では新しい地下道がつくられていますが、かつては八高線が鉄橋で五日市鉄道を跨いでいました。鉄橋は平成13年～14年頃まで残っていましたが、今では取り外されています。

地下道をくぐり昭和通りと交差すると旧大神駅跡です。旧大神駅には復元されたホーム等のモニュメントがあり、旧状をしのぶことができます。これらのモニュメントは拝島駅や奥多摩駅の資材を用いたもので、五日市鉄道とは関係ありません。実際の大神駅は掘割のなかにあり、昭和通りも八高線と同様、橋で五鉄を跨いでいました。現地表の2～3m下に大神駅はあったのです。

次の武蔵田中駅までは0.4kmと一番短い区間で、しばらく進むと国道16号線と合流します。この合流地点付近に武蔵田中駅がありました。合流地点には<sup>てんてつき</sup>転轍機が置かれています。転轍機とは線路のポイントを動かす装置のことです。武蔵田中駅からは多摩川に向かって砂利線が分かれていたので置かれているのでしょう。武蔵田中駅から南拝島駅過ぎまでは、国道16号線沿いに線路が走っていました。



**e. 郷地～武蔵福島間**

この区間が最も廃線跡らしい雰囲気を残している。



**f. 旧南中神駅付近**

正面に見えるのが、中神停車場通り。南中神駅は中神停車場通りの東側にあった。



**g. 旧宮沢駅付近**

松中諏訪通りの西側に宮沢駅があった。正面から奥に続く道が五鉄跡(五鉄通)。



**h. 復元された大神駅**

旧大神駅にはモニュメントが置かれている。

南拝島駅は JA みどり東京拝島支店の東側にありました。拝島支店から少し進むと、国道 16 号線から別れ、拝島駅に向かいます。この区間も五鉄通りとして昭島市に整備されています。拝島駅に向かってしばらく進み自転車置き場を通り過ぎると、江戸街道にぶつかります。

江戸街道にぶつかる直前に細い路地と交差します。この路地には、もともと拝島駅へ向かうトロッコ線が走っており、五鉄とは立体交差して小さい鉄橋がトロッコ線を跨いでいました。現在ではトロッコ線跡は埋められており、平面交差になっています。トロッコ線は主に砂利を運ぶためにつくられたものです。廃線跡は江戸街道にぶつかり、これ以上は廃線跡に沿っては歩けなくなります。線路はこのまま真っ直ぐに拝島駅に向かっていました。

12 月 13 日の開催当日は、午前 10 時 30 分に立川駅南口集合、昭島市昭和公園での 30 分の昼食休憩をはさみ、14 時 30 分過ぎに拝島駅に到着しました。休憩時間を含み、およそ 4 時間かけて、8 km 以上を歩いたことになります。



#### i .旧武蔵田中駅跡

右奥へ続いているのが五鉄跡(大神方面)。国道 16 号線との合流部付近に武蔵田中駅があった。



#### j .砂利線

武蔵田中駅からは砂利線が分岐していた。正面、自動車が出てきている道路が砂利線跡。



#### k .旧南拝島駅付近

南拝島駅は JA みどり東京拝島支店の付近にあった。



1. 左が16号線、右が五鉄跡



(上)m. トロッコ線との交差点

左奥に向かって緩やかに曲がっているのが五鉄跡。駐輪場のプレハブ前の小道が、トロッコ線跡。かつては小鉄橋があった。



(左)n. 拝島駅付近

自動車が走っているのは江戸街道。線路は真っ直ぐ拝島駅に向かっていて。

# 平成26年度 資料館の催し

平成 26 年度資料館では、企画展や体験学習などさまざまな催しを行いました。その中の一部をご紹介します。

## 1. ミニ展示 砂川闘争絵画展



展示風景

昭和 30 年（1955）砂川町でおきた米軍基地拡張反対運動「砂川闘争」。美術家・新海覚雄は闘争当時、地元の人々と交流を深め、肖像画を描きました。この展示では、肖像画 37 枚（複製含む）を、6 月 3 日から 7 月 13 日までのⅠ期と 9 月 2 日から 10 月 13 日までのⅡ期に分けて開催・展示しました。

## 2. 体験事業 繭玉飾りと七草粥作り



繭玉飾り

養蚕が盛んな地域で行われていた正月の年中行事「繭玉飾り」。立川の家々でも行われていたこの行事を、平成 19 年以降久方ぶりに資料館で開催しました。参加者は、繭に似せた団子をつくり、楽しそうにミズナラの木に飾り付けをしていました。飾り付けの後も、焼き団子と七草粥を試食しました。

## 3. その他事業 はた織りまつり



はた織りまつり（高機）

毎年春と夏の 2 回、とんからりん機織りクラブのご協力を得て、はた織りや、繭を使った繭玉工作や真綿作りなどが体験できる「はた織りまつり」を開催しています。第 6 回を迎えた 3 月 22 日（日）のはた織りまつりでは、ようやく地元の方々に周知されてきたのか熱心なファンも多く、開場前から列ができるほどの盛況ぶりでした。本格的な機織り機のほか、小学生未満の方でも体験できる卓上機織り機など大人から子どもまで楽しんでいただけたようです。

## 平成 26 年度 企画展・ミニ企画展

| 展 示 名                               | 期 間               | 場 所      |
|-------------------------------------|-------------------|----------|
| 企画展 新収蔵品展                           | 3/15(土)～4/20(日)   | 資料館      |
| ミニ企画展 端午の節句                         | 4/8(火)～5/6(祝)     | 資料館・古民家園 |
| ミニ企画展 砂川闘争絵画展Ⅰ                      | 6/3(火)～7/13(日)    | 資料館      |
| ミニ企画展 七夕飾り                          | 6/28(土)～7/6(日)    | 資料館・古民家園 |
| 企画展 立川の遺跡 2014                      | 7/23(水)～8/31(日)   | 資料館      |
| ミニ企画展 砂川闘争絵画展Ⅱ                      | 9/2(火)～10/13(祝)   | 資料館      |
| 写真展 立川駅前の移り変わり                      | 9/6(土)～10/5(日)    | 資料館      |
| 文化財ウィーク特別展示 銅鉦鼓展                    | 10/25(土)～11/30(日) | 資料館      |
| 企画展 青鉄と五鉄                           | 10/21(火)～12/14(日) | 資料館      |
| ミニ企画展 ちょっとむかしのくらしと<br>その道具～台所の風景より～ | 12/20(土)～1/31(土)  | 資料館      |
| ミニ企画展 桃の節句                          | 2/3(火)～3/8(日)     | 資料館・古民家園 |
| 企画展 梅田家と梅田診療所                       | 2/14(土)～3/31(火)   | 資料館      |

## 平成 26 年度 体験学習など

| 場所      | 講 座 名            | 実施日      | 人数 |
|---------|------------------|----------|----|
| 歴史民俗資料館 | 手打ちそば作り          | 5/17(土)  | 25 |
|         | 資料館で落語を楽しみませんか   | 7/26(土)  | 15 |
|         | 夏休み工作体験 竹細工作り    | 8/16(土)  | 14 |
|         | 手打ちうどん作りと十五夜飾り   | 9/27(土)  | 21 |
|         | 正しい拓本の取り方を学びませんか | 10/4(日)  | 6  |
|         | 手打ちそば作り          | 11/15(土) | 21 |
|         | 餅つきと鏡餅作り         | 12/14(日) | 13 |
|         | 繭玉飾りと七草粥作り       | 1/11(日)  | 15 |
|         | 手打ちうどん作り         | 2/15(日)  | 36 |
|         | 草餅作り             | 3/29(日)  | 35 |
| 館外      | 多摩川の自然観察         | 4/27(日)  | 6  |
|         | 市内文化財散歩 立川の古村を歩く | 11/2(日)  | 21 |
|         | 企画展関連現地解説 五鉄跡を歩く | 12/13(土) | 24 |

## 古民家園茶点事業

| 回数 | 実施日     | 人数 | 回数 | 実施日      | 人数 |
|----|---------|----|----|----------|----|
| 1  | 4/17(木) | 20 | 7  | 10/5(日)  | 5  |
| 2  | 4/27(日) | 26 | 8  | 10/28(火) | 13 |
| 3  | 5/11(日) | 23 | 9  | 11/7(金)  | 19 |
| 4  | 5/27(火) | 5  | 10 | 11/16(日) | 9  |
| 5  | 9/9(火)  | 27 | 11 | 3/8(日)   | 21 |
| 6  | 9/21(日) | 44 | 12 | 3/31(火)  | 24 |

## 講 演 会

| 名称                                                  | 会場       | 実施日                  | 人数    |
|-----------------------------------------------------|----------|----------------------|-------|
| 東京農林水産フェア関連「農」と「アート」と「歴史」の散歩道<br>講演会 ラオスの布 大地から命を紡ぐ | 歴史民俗資料館  | 10/25(土)<br>10/26(日) | 延べ 59 |
| 講演会 立川の方言                                           | 女性総合センター | 11/16(日)             | 48    |
| 企画展関連講演会 青梅鉄道資料と立川                                  | 柴崎学習館    | 11/30(日)             | 49    |
| 多摩郷土誌フェア関連講演会<br>砂川村役場文書からみた地域社会                    | 女性総合センター | 1/18(日)              | 38    |

## 出張（共催）事業 その1

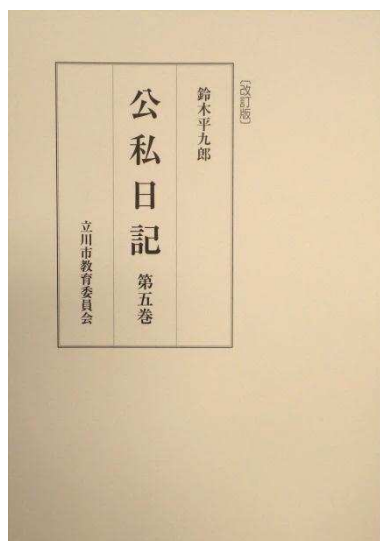
| 事業名                     | 期 間             | 場 所          |
|-------------------------|-----------------|--------------|
| 市民企画講座 とんからりん機織り初級講座    | 4/22(火)         | 資料館          |
| 出張展示 縄文土器展              | 5/1(木)～5/30(金)  | たましん富士見町支店   |
| 共催事業 繭うさぎ作り             | 6/10(火)・17(火)   | 西立川保育園       |
| 協働事業 立川周辺の近代化遺産展        | 6/10(火)～6/30(月) | 三井住友信託銀行立川支店 |
| 市民企画講座 意外に面白い立川縄文遺跡入門   | 6/29(日)         | 資料館          |
| 共催事業 ニホンゴ探検 2014        | 7/19(土)         | 国立国語研究所      |
| 共催事業 稲作体験               | 7/17(木)         | 富士見児童館       |
| 共催事業 夏休み特別企画 立川のことを知ろう！ | 7/29(火)・8/21(木) | 市役所 市政情報コーナー |

## 出張（共催）事業 その2

| 事業名                                       | 期間               | 場所           |
|-------------------------------------------|------------------|--------------|
| 協働事業 はた織り体験（南富士見学童保育所）                    | 8/19（火）          | 資料館          |
| 協働事業 はた織りまつり・夏                            | 8/31（日）          | 資料館          |
| 出張展示 文化財で振り返る立川の歴史と第一小学校                  | 9/1（月）～9/28（日）   | 柴崎学習館        |
| 市内文化財散歩（ジュニアリーダー研修）                       | 9/6（土）           | 市内柴崎町周辺      |
| 共催展示 杣から大工へ～道具から仕事を知る～                    | 9/20（土）～10/31（金） | 高松学習館        |
| 協働事業 立川村十二景を歩く～立川駅前編                      | 9/25（木）～10/31（金） | 三井住友信託銀行立川支店 |
| 出張講座 真綿づくり・繭うさぎ作り（特別支援学級対応）               | 10/8（水）          | 市立第九小学校      |
| 出張事業 脱穀体験                                 | 10/24（金）         | 市立第七小学校      |
| 東京農林水産フェア関連「農」と「アート」と「歴史」の散歩道 はた織りワークショップ | 10/25（土）         | 資料館          |
| 出張講座 繭うさぎ作り                               | 11/19（水）         | 市内第十小学校      |
| 協働写真展示 立川駅前の移り変わり～北と南のあゆみ～                | 11/21（金）～2/13（金） | 高松学習館        |
| 共催事業 繭うさぎ作り                               | 1/9（金）           | 南富士見学童保育所    |
| 協働事業 はた織り体験（西立川保育園）                       | 1/15（木）          | 資料館          |
| 出張講座 昔の道具体験                               | 1/16（木）          | 市立第七小学校      |
| 協働事業 真綿づくり                                | 1/23（金）          | 市立第二小学校      |
| 出張講座 昔の道具体験                               | 1/27（火）          | 市立第五小学校      |
| 出張講座 昔の道具体験                               | 1/29（木）          | 市立けやき台小学校    |
| 出張講座 昔の道具体験<br>（市立南砂小学校）                  | 2/3（火）           | 古民家園         |
| 出張講座 昔の道具体験                               | 2/4（水）           | 市立柏小学校       |
| 出張講座 昔の道具体験                               | 2/19（木）          | 市立第九小学校      |
| 出張講座 昔の道具体験<br>（市立若葉小学校）                  | 2/24（火）          | 古民家園         |
| 出張展示 立川の中の東京オリンピック                        | 3/5（木）～3/25（水）   | 市立第六小学校      |
| 協働事業 はた織りまつり・春                            | 3/22（日）          | 資料館          |

---

## ～新刊紹介～「鈴木平九郎 公私日記」第5巻（改訂版）



「公私日記」改訂版・第5巻を刊行いたしました。第4巻の続巻で、嘉永7年（1854）から安政5年（1858）までを収録しています。今回は、安政の大地震を体験した柴崎村の名主・鈴木平九郎が、前年に起きた東海地震との比較を簡潔且つ正確に表現する様が掲載されています。実際に経験した者でしかわからない感想で、震災史にとっても貴重な史料となるでしょう。

また、天保8年（1837）から続いた「公私日記」は、安政3年で終止符を打ち、安政4・5年の最後の2年間は、家や村内などの身近な事件や諸外国との事件など、記録すべき事柄がお

きた時に書きつける「公私見聞録」として再出発しています。今回の改訂版第5巻では見聞録も同時収録しており、井伊直弼の大老就任を一行で表したかと思えば、日米修好通商条約に関することが事細かに記されていることなど、幕末の動乱を賑わした事件たちが、名主の目線を通した事実として浮かび上がってきます。

鈴木平九郎は、安政5年の実母の逝去をもって日記の記述を終了し、その後元治元年（1864）6月13日に57歳で亡くなります。公私見聞録の終了から6年後のことでした。

平成23年から続いたこの改訂版刊行も、今回で終了となります。平成13年から始まった校訂作業から数えると足かけ14年にもなる改訂版の刊行は、ひとえに公私日記研究会のご尽力の賜物です。この改訂版全5巻が、地域や研究者のみならず愛される資料となることを願っております。

○公私日記改訂版・第5巻 B5判 309ページ ￥1,600

---

## 資料館だより 第19号

発行日 2015年（平成27年）3月31日

編集・発行 立川市歴史民俗資料館

（立川市教育委員会教育部生涯学習推進センター文化財係）

住所 〒190-0013 立川市富士見町3丁目12番34号

TEL:042-525-0860 FAX:042-525-1236